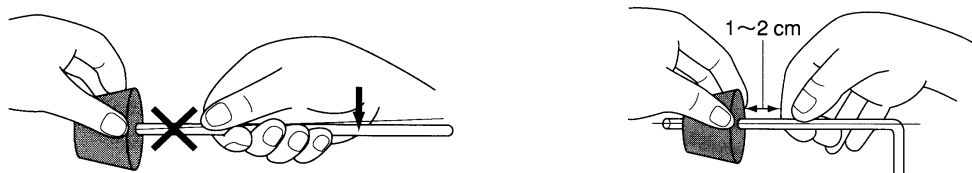


化学実験安全守則

ガラス器具取り扱い時の負傷がなくなります。
以下の注意を守って、ヒューマンエラーをなくすと共に、
事故に備えること。

1. **基本を守れ** (ゴム管等にガラス管を挿す作業の作業標準)。
ガラス管にかけてよい力は、ガラス管方向とその方向周りの
回転のみである。
ガラス管又はプラスチック栓や管を水などで濡らし、すべりを
よくしたのち作業する。
両手を極力近づけて作業する。
タオルや保護手袋などで手を守って作業する。



化学実験の安全指針 第4版, 日本化学会 編, 丸善 (1999), p. 139.

2. **事故を想定し, 備えよ。**
薄手の皮手袋などで手を守る。
一度事故を起こせば, 次の事故に備えた行動を取れ。
(作業性の良い防護アイテムを求める行動を取れ。)
3. **負傷した時, 破片が手に入っていないか確かめよ。**
傷口を押さえて確認する。
4. **傷口を押さえよ。ガラスによる傷は, 出血が止まりやすくと完治しやすい。**
縫合は, 血管を切断した時などの最後の手段である。
治療を受けた時, 支援室に報告すること。